

人権センターだより

電話 82-0076
ファクス 82-0110
s0150@town.nichinan.lg.jp
Vol. 151



【人権標語を募集します】

今年度も「人権標語」を募集します。なんらかの人権に関係する内容であれば、俳句、短歌、自由律など形式は自由です。

■応募方法・応募先

郵便、ファクス、メールで、人権センターへお送りください。

■応募締切 10月15日(金)

■その他

- ・おひとり何点でも構いません。
- ・応募作品は、人権啓発のために町の発行物への掲載、公共施設での掲示などで公表させていただきます。
- ・公表にあたり匿名希望の方は、その旨、お書き添えください。
- ・コロナ禍によるイベント中止が予想されるため、掲示の機会

が少なくないかもしれませんが、ご理解ください。

【ふれあい文化祭は中止】

例年10月中旬に人権センターを会場に開催してきました「ふれあい文化祭」ですが、過日、実行委員会で協議した結果、中止と決定いたしました。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染予防に配慮したものです。

とても残念ですが、来年こそにぎやかに再開できることを願っています。

【ふれあい人権講座について】

「ふれあい人権講座」についても、県西部で新型コロナウイルス感染症の新規感染が続いているため8月、9月と開催を見合わせています。現在もコロナ禍の動向が見通せないため、無期延期としています。

状況が改善し、開催が可能になれば防災無線放送などでお知らせします。その節には、ぜひご来場ください。

人権センターの

つぶやき (ツイート)

「ムヒカさんの言葉」

日南町は施策の基本に農林業の振興や自然環境保全を掲げて取り組んでいます。それらの目標を考へるとき思い浮かぶのが「ムヒカさんの言葉」です。

ムヒカさんは、南米の小国「ウルグアイ」の元大統領で、当時「世界でいちばん貧しい大統領」と呼ばれていました。給料の多くを貧しい人たちに寄付し、農場で暮らし、公邸や公用車を使わず古い愛車で通勤していました。彼は人間の「幸福」がどんなものであるか、はつきりとした意思を持っている、幾多の名言があります。なかでも2012年にブラジルで開かれた地球環境について話し合う国際会議での演説が有名です。ここで全文を書き上げることはできませんが、幾つかのポイントは、こうです。

- ・全人類が、先進国と同じ暮らし方をしたら資源は？環境は？
- ・文明により便利になったが、際限のない物欲も生み出した。
- ・目前の危機は、地球環境の危機



ホセ・ムヒカさんは「人の幸せとは何ぞや」という根本的な問いへの自身の答えを信念をもって発信された方です。

ではなく、人間の生き方の危機である。仕組みは暴走している。幸せになるために生まれたのに、物欲のために人生を浪費し、不幸になつてはいないか？
・人と人が幸せな関係を結ぶ。友人を持つ。地球上に愛がある。これらが生きるための最低限の土台であり「発展」は、その味方ではなければならない。
・幸福は宝であり、幸福であつてこそより良い生活ができる・・・
※このスピーチはインターネット上の動画で視聴可能です。